

キートピック

東方経済フォーラムの
文化プログラム
承認済み

初の海外観光客、
極東入り用
電子ビザを獲得

中国、極東で
農産業クラスター
建設へ

東方経済フォーラム関連ニュース

2017年8月11日 PrimaMedia通信

東方経済フォーラムの文化プログラムが承認済み

フォーラムの文化プログラムは9月5日、「極東ストリート」フェスティバルで開始される。その中で極東地域の諸地方のユニークな文化・経済特徴が紹介される。

フォーラム開催の毎日、マリンスキー劇場の沿海舞台では「モスクワのソロイスト」アンサンブル(ユーリ・バシュメット指揮)や「眠れる森の美女」バレエなどの上演が予定される。

ウラジオストク住民や観光客のために中央広場でバンド「ホール・トゥレットコゴ」やフュージョングループ「Indian Ocean」、太平洋管弦楽団のコンサートが催される。

<http://primamedia.ru/news/611870>

2017年8月10日 タス通信

ASEAN諸国の代表が2017年の東方経済フォーラムに参加する

ロシアのラブロフ外相はタイのポラマツウィナイ外相との会談の場で、今年の東方経済フォーラムではASEAN諸国の参加が見込まれていることに言及。フォーラムの枠内でロシア・ASEAN二国間対話の開催が予定され、極東で有望な事業を共同で実施される可能性が取り上げられる予定。

<http://tass.ru/politika/4473608>

2017年8月9日 タス通信

極東地域の先行的な発展を目指した連邦法律が東方経済フォーラムの場で議論される。特に、極東地域への大規模な投資家に対する免税機関の延長、ウラジオストク自由港の入居者に対する統一税の導入、投資家による外部インフラ建設費の還付に向けた法改正案が話し合われる。改正案はロシア議会上下両院の議員を入れて討議される予定。

<http://tass.ru/obschestvo/4470981>

2017年8月8日 RIAノーボスチ通信

東方経済フォーラムではデジタル経済が議論される

2017年サンクトペテルブルグ国際経済フォーラムで展開されたロシアのデジタル経済をめぐる議論は東方経済フォーラムの場で継続される。フォーラムのビジネスプログラムには、「アジア太平洋地域の金融部門での新技術：現実を変えるブロックチェーンのメカニズム」「スマートエネルギー：需要と供給のバランス—新プロジェクト」のように、最新技術に関連した複数のセッションが取り入れられた。

<https://ria.ru/economy/20170808/1499994707.html>

ロシア極東地域の国家政策

2017年8月9日 ベスチ

初の海外観光客、極東入り用の電子ビザを獲得

簡易入国制度の導入して1日目の間、中国人42名、日本人38名、それにアルジェリア、イラン、インド、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、チュニジアの国民が新式ビザを獲得した。外国人は1回入国を可能とするビジネス、観光、若しくは人道ビザを申請する。

電子ビザをもってロシア入国が可能になるのは、ウラジオストクの2つの検問所（海上、クネヴィチ国際空港）である。2018年1月以降はカムチャツカ地方、サハリン州を含め4つの検問所が使える。

<http://www.vesti.ru/doc.html?id=2918923>

2017年8月8日 Regnum

ブラゴベンチェンスクも自由港になる可能性あり

ロシア連邦極東開発省はウラジオストク自由港の拡大を図っている。極東開発担当のカチャーエフ副大臣によると、ブラゴベンチェンスクにも自由港制度を拡大することは、国境沿い地帯での特別法的制度作りの作業継続の中で予定されたもので、アムール州にとどまらず全極東地域のプラスになると期待される。

<https://regnum.ru/news/2308029.html>

ロシア極東地域の経済状況

2017年8月10日 GAZETA.RU

中国、極東で農産物クラスター建設へ

中口合弁会社「農産物クラスター太原」は本プロジェクトに60億ルーブル強投資する予定。新規クラスターはウラジオストク自由港内で実施される。複合施設の総面積は7,000ヘクタールで、本部、農地（ジャガイモ、穀物、大豆畑）、加工ゾーン、物流、観光エリアという、5つのエリアに分けられる。実施は2024年まで3段式になる。

https://www.gazeta.ru/business/news/2017/08/10/n_10415288.shtml

2017年8月10日 RIAノーボスチ通信

カムチャツカ地方で初の国際コンテナ線、開設へ

自由港の入居者セログラスカ・ターミナルのプロジェクト実施で、ペトロパブロフスク・カムチャツキー港からアジア太平洋地域諸国の港湾へ直接魚類を届けることが可能になる。

新しいコンテナ線の開設と、海上輸送システムのさらなる発展で、ほかの港湾の積み替えに関連した費用を縮小させることによって、魚類の高度な品質を確保するとともに、出荷価格を下げることを可能にする。

現在、投資家は容量1万5千トンの作業用冷凍装置の建設を続けており、クレーンの設置、大型船用の埠頭改築工事は完成に近い段階にきている。総工費は8億7600万ルーブルとされる。

<https://ria.ru/economy/20170810/1500118260.html>

極東発展を目指す新しい装置——成功の実例

2017年8月11日 「極東の資本」

アムール州で、ロシア初の大豆深加工工場が稼働へ

「アムールスキー」油抽出工場は可動式許可を獲得した。同事業は先行発展領域「ベロゴルスク」内で実施され、総工費は15億ルーブルを超える。現在、スタッフは350名。製品はウラル、西シベリア、中国向けに出荷され始めている。

同工場は先行発展領域の初の入居者企業として自由保税区域制度を利用したことから、総工費の大幅削減に寄与した。

http://dvkapital.ru/regionnow/amurskaja-oblast_11.08.2017_10397_v-amurskoj-oblasti-zarabotaet-pervyj- v-rossii-zavod-po-glubokoj-pererabotke-soi.html

ロスコンGRESS基金について

2017年の東方経済フォーラムの主催者機関であるロスコンGRESS基金は、最大級の会議・展示会の開催に特化している。

本基金は、会議、展示会、交流などの開催によってロシアの経済的ポテンシャルを発展し、対外イメージを増強する目的で、2007年に創設された。基金はその内容をまとめ、企業や国家機関に対してコンサルティング、情報面、専門家としてのサポートを提供し、さらにはロシア国内・全世界の経済アジェンダの諸問題を全面的に研究、分析、報道している。

現在、一年に基金が主催する行事は南米のモンテビデオから極東のウラジオストクまでと広範囲であり、一つの場で、世界の業界、有識者、マスコミや政府関係者を集めて、新たなアイデアやプロジェクトを話し合うベストな環境を与えるとともに、社会的起業や慈善事業にも支援を進めている。